



創 立 昭和32年4月19日
 会 長 長谷川博章
 会長エレクト 森川善隆
 副 会 長 平田博也
 幹 事 松井大典
 公共イメージ 辻田真海



2020-21年度 地区スローガン
ロータリーの原点に戻る
 誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ

事務局（例会場）

橿原市久米町652-2 THE KASHIHARA 4F

TEL/0744-28-2801（直通）

FAX/0744-28-2802

E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp

TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

金曜日

12時30分～13時30分

Vol.64 No.13 (2020-21)

2020(令和2)年11月20日発行

11月は、「ロータリー財団月間」(Rotary Foundation Month)です。

第3072回例会報告書

2020(令和2)年11月6日

司会 幹事・松井大典会員
 R.song 君が代・奉仕の理想
 ソング・リーダー 小山 修会員

ゲ ス ト

卓話講師：(一財)南都経済研究所 主席研究員
 丸尾尚史氏
 米山奨学生 グォン・ティータイン・ヒュオンさん

出 席 報 告

会員47名 (11/6) 出席者34名 出席率82.92%
 会員45名 (10/23補正) " 26名 " 63.41%

ニ コ ニ コ 箱

- ◎長い間休みましたので、ニコニコします。
 ……………藤岡宏章会員
- ◎本日、伝統ある橿原RCに入会をさせて頂くことになりました。よろしくお願い致します。
 ……………上江洲康司会員
- ◎本日入会しました。よろしくお願い致します。
 ……………田中麻呂会員
- ◎誕生日お祝い
 藤岡宏章会員(11/24) 吉田浩巳会員(11/30)
- ◎結婚記念日お祝い
 藤岡宏章会員(11/15) 尾田肇睦会員(11/18)
 柚本行彦会員(11/7)
- ◎入会お祝い
 中林隆男会員(10月入会、25年)

会 長 挨 拶

○皆様こんにちは。11月に入り、ここ数日の奈良県の新型コロナウイルスの感染者数が二桁になっており、非常に厳しい状況だ。そのような中、このように多くの方にご出席頂き、感謝申し上げます。

本日は2名の新入会員の入会式を行う。この11月で5名の入会となり、また12月には、以前にご承認頂いたがご本人の都合で12月のご入会となった関 将之氏、以前当クラブに在籍されていた関義清氏のご子息の入会式を行う予定だ。よって12月には会員数48名となる。

ご案内は後日お送りさせて頂くが、12月第2例会は望年親睦家族会をあべのハルカスの大阪マリオット都ホテルで開催させて頂く。コロナ禍の中はあるが、皆様と共にご家族の方にもたくさんご参加頂けるような企画を考えて頂いているので、是非とも多くの方のご参加をよろしくお願ひしたい。

○本日の卓話は「コロナ後の観光について」ということで、Go to キャンペーンが始まり、「せっかくだから使わない」と思い、私の事務所では今月、職員と一緒に徳島に行く予定をしている。前回の卓話でもお話しさせて頂いたように、35%の割引があり、地域共通券等々も配布されるので、感染に気をつけながらではあるが、やはり経済の発展があつてこそだと思つるので、利用する価値はあるのではないかと思っている。

○本来なら、アメリカの大統領が決まっているはずだが、郵便投票の関係でまだ決まっておらず、状況によってはいつ決まるか分からない状況になっているが、当クラブでは来月にはもう次の年度がいよいよ動き出し、年明けごろから次年度理事会も開催されるが、本年度はまだ7ヶ月残っているので、引き続き6月の最後までご協力頂くよう、切にお願い申し上げます。本日のご挨拶とさせて頂く。本日もよろしくお願いしたい。



幹事報告

△11月誕生日

里田 好会員 (11/14) 中野利昭会員 (11/8)
藤岡宏章会員 (11/24) 吉田浩巳会員 (11/30)
豊田博樹会員 (11/6)

△11月結婚記念日

永田晶三会員 (11/8) 森川善隆会員 (11/12)
藤岡宏章会員 (11/15) 尾田肇睦会員 (11/18)
吉村輝高会員 (11/18) 杣本行彦会員 (11/7)
榎谷征佑会員 (11/25) 尾上隆志会員 (11/25)



・銀婚お祝い品の贈呈：杣本行彦会員

△11月入会

上江洲康司会員 (0年) 田中麻呂会員 (0年)
△地区より、「ロータリーリーダーシップ研究会 RLI
パート1」修了証の伝達
・森川善隆会員・河村善一会員



△次週 13日は休会。次回の例会は11月20日(金)
なので、お間違えの無いようよろしくお願いしたい。
△年次総会について

日時：12月4日(金) 12:15～
場所：THE KASHIHARA 例会場
ご出席頂くようよろしくお願いしたい。
※詳細はメールBOXにて。

△奈良県肢体不自由児協会より、『第68回手足の不自由な子供を育てる運動』の実施に伴う、友情の絵はがき等の頒布についてのご案内
※詳細は掲示板にて。

△例会変更ほか(詳細は掲示板にて)

・やまとまほろばRC

- ①12月3日(木) 家族忘年会の為、変更
→12月5日(土) 18:00～ 於：ホテル日航奈良
- ②12月24日(木)・12月31日(木) 休会
※いずれもビジター受付なし。

卓 話

担当：プログラム委員会

講師：(一財)南都経済研究所 主席研究員
丸尾尚史氏



「コロナ後の観光について」

1. コロナ後の奈良の経済状況

当研究所が四半期ごとに実施している「地元企業動向調査」によりますと、2020年7-9月期の奈良県内企業の景況感DIは、前期比30.5ポイント上昇し-30.1となりました。1四半期前の4-6月期は-60.6でリーマンショック以来の低水準となりコロナの影響が色濃く出ていましたが、今四半期は、やや持ち直しの感がみられます。業種別にみると、多くの業種で依然としてマイナスの状況ですが、「Go To トラベルキャンペーン」効果等でホテル・旅館は-100.0から+33.3へ大きく改善するなど、企業の先行き見通しに光が差しはじめています。ただし、本格的な経済の回復にはまだ時間を要しそうです。

2. コロナ後の観光 ①各種アンケート調査結果等

「観光」という産業はありませんが、宿泊業、飲食業、運輸業など観光に関連する産業は幅広く、観光の活性化が地域経済に与える影響は少なくありません。

「Go To トラベルキャンペーン」や都道府県独自のキャンペーン等が順次行われており、奈良県の「いまなら。キャンペーン」も好調な売れ行きです。そういった中、全国で実施された観光に関するアンケート調査等から特徴的なポイントを拾ってみます。

まずは、わが国の観光消費額ですが、「旅行・観光消費動向調査」(観光庁)によりますと2019年の総額は27.9兆円で、内訳としては「日本人国内宿泊旅行」が17.2兆円で全体の61.4%を占めています。続いては「訪日外国人旅行」の4.8兆円(17.2%)となっており、インバウンド消費は全体の2割にも満たない状況でした。また、日本人の海外旅行はしばらく難しいことから、4兆円程度あった日本人の海外旅行消費額の一部は国内旅行へシフトするものと思われます。

各種アンケート調査では、今後望まれる観光としては「自然観光」や「歴史・文化観光」など屋外や3密の回避が可能なジャンルが上位を占めています。奈良公園周辺などの観光地に改めてスポットが当たることが期待されます。旅行意向については、一定程度の需

要はあるものの、一方で不安視する声も聞かれます。旅行先で気になることは「混雑状況」と「感染対策の実施状況」が上位ですが、「地域住民の感情」も多くみられました。

今後の展開は、これから先のコロナの収束状況やワクチン、治療薬の開発等の状況により、いつどの程度の不安感が払拭できるかにかかっています。

3. コロナ後の観光 ②変わる観光のあり方

需要の回復はキャンペーンの効果もあって徐々に進んでいますが、形態としては「近場⇒遠場」、「日本人日帰り⇒日本人宿泊⇒インバウンド」へ段階を踏んで回復していきますので、どこかにフォーカスして対策を打つというのではなく、それぞれへの対応が必要です。

新しい観光のかたちとしては、観光客がこれまで以上に安心・安全に気を遣うようになるので、「安心安全、近い、短い」という新・安近短のスタイルに注目したいと思います。自宅から1～2時間圏内の地元または近隣への観光であるマイクロツーリズムが進展し、キャンペーン効果も手伝って日本人の国内宿泊旅行の増加が期待できます。都市から地方への動きも出でしょう。その際に注意すべきことは、3密回避や消毒液の設置などの感染予防対策は当たり前であり、対策を講じているからといって他のライバル地域との差別化は図れないということです。

さらに、経済効果を高める要因としては「観光客数」、「ひとりあたり消費額」、「域内調達率」の3つがありますが、今後はこのうち「ひとりあたり消費額」と「域内調達率」を向上させることが求められます。

コロナ禍でテレワークを導入した企業も少なくなく、今後、ワーケーション（休暇中に滞在先でリモートワークをする）やブレジャー（出張のついでに出張先で旅行を楽しむ）も進むものと思われます。ただ、観光客側の意識や行動にも一定の責任をもってもらうことで、良い観光地を作っていこうとする「レスポンスブルツーリズム」の考え方も必要です。また、キャンペーンによって訪問してくれた観光客のリピーター化も重要なポイントです。そのための仕掛けづくりも必要でしょう。

コロナ後の観光をまとめると以下の通りです。

- ・十分な回復には長期戦を覚悟する。
- ・万全な感染予防対策は必要不可欠。ただ、これをもって他との差別化にはつながらない。
- ・観光客の増加よりも消費単価の上昇と域内調達率の向上に注力する。
- ・「新・安近短」とリピーターの獲得に注力する。
- ・観光客も、意識や行動に一定の責任を持つ。

以上による観光の活性化が地域経済の発展に繋がっていくものと思われます。



【例会ご案内】

11月27日(金)《第3例会》
「今井町のまちづくり」
今井町並保存整備事務所 所長補佐 中川智之氏
担当：平田博也会員

12月4日(金)《第1例会》
・新入会員自己紹介
(西尾兆司会員・島田昌則会員・松本好清会員)
・会員増強について
(尾上隆志副委員長・高橋 靖委員)
担当：会員増強委員会

12月11日(金)《第2例会》
望年親睦家族会
担当：親睦活動委員会

12月18日(金)《第3例会》
担当：増田善昭会員

12月25日(金)
休会

【同好会】

書道同好会

11月20日(金)・
12月4日(金)・12月18日(金)
午後2時～ 於：4階 楓の間

【RAC例会】

〔榎原オークホテルにて、午後7時30分～9時〕

11月25日(水)《第2例会》
国際奉仕②

12月11日(金)《第1例会》
RC 望年親睦家族会

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。

